

独立行政法人

福祉医療機構

ごあんない

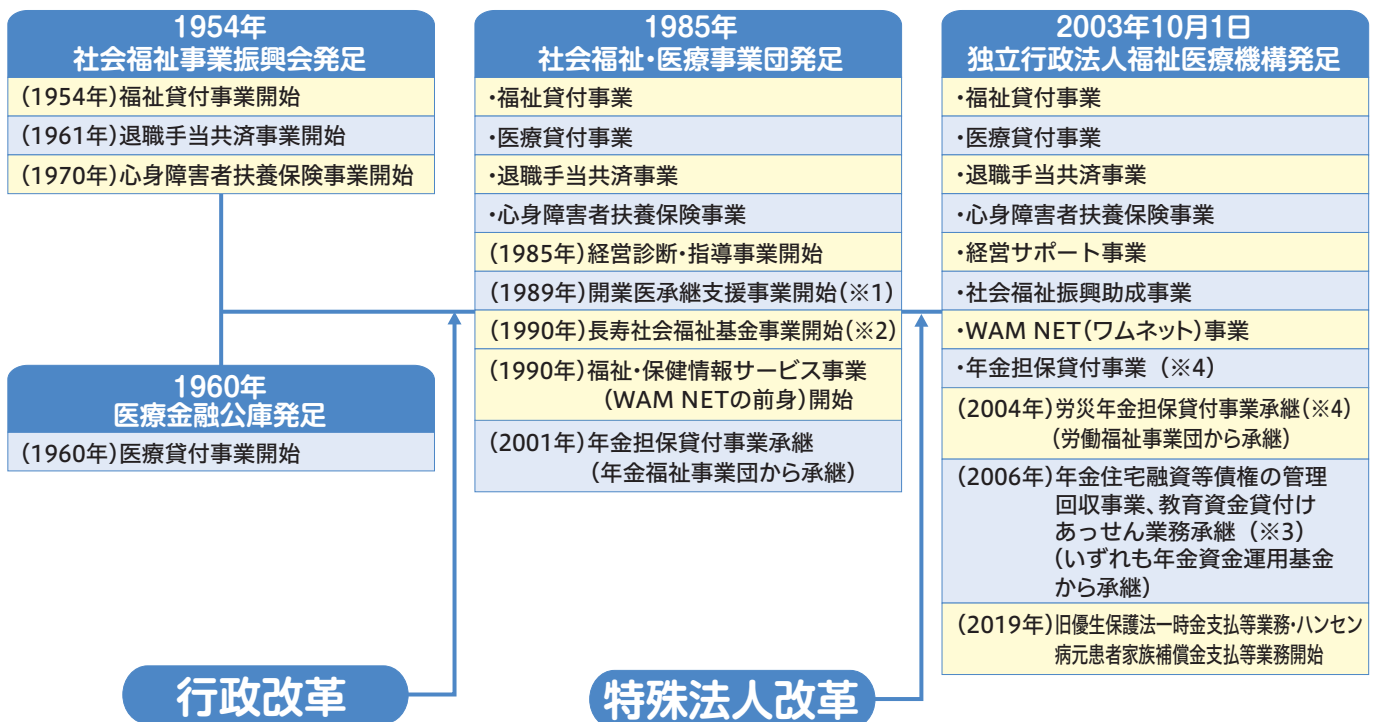
福祉と医療の民間活動を応援します！

概要

(2024年4月1日現在)

名称	独立行政法人福祉医療機構 (英語表記：WELFARE AND MEDICAL SERVICE AGENCY)
所在地	[本部] 東京都港区虎ノ門4丁目3番13号 (ヒューリック神谷町ビル1階・9階・10階) [大阪支店] 大阪府大阪市中央区南本町3丁目6番14号 (イトウビル3階)
設立	2003年10月1日
根拠法	独立行政法人福祉医療機構法 (平成14年法律第166号)
主管官庁	厚生労働省・こども家庭庁
資本金	3,537億9,879万7,438円
役員	309名 (役員6名 (非常勤役員1名を含む)、職員303名)
事業内容	<ul style="list-style-type: none">● 福祉貸付事業 (社会福祉施設の設置、整備または経営に必要な資金の融資)● 医療貸付事業 (医療施設の設置、整備または経営に必要な資金の融資)● 経営サポート事業 (施設の安定経営のバックアップ)● 社会福祉振興助成事業 (社会福祉を振興するための事業に対する助成)● 退職手当共済事業 (社会福祉施設職員等の退職手当共済制度の運営)● 心身障害者扶養保険事業 (地方公共団体が運営する心身障害者扶養共済制度の保険)● WAM NET 事業 (福祉保健医療情報の提供)● 承継年金住宅融資等債権管理回収業務 (旧年金資金運用基金から承継した年金住宅融資等債権の管理・回収)● 年金担保債権管理回収業務・労災年金担保債権管理回収業務 (年金受給者への貸付資金の管理・回収)● 旧優生保護法一時金支払等業務 (旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた方への一時金の支給等)● ハンセン病元患者家族補償金支払等業務 (ハンセン病元患者家族の方への補償金の支給等)

独立行政法人福祉医療機構の沿革



※1 開業医承継支援事業は、「中期目標期間終了時の組織・業務の見直しの結論を2006年中に得る独立行政法人等の見直しについて」(2006年12月24日行政改革推進本部決定)に基づき、2008年3月末をもって廃止。

※2 本事業は、1988年度補正予算による政府からの出資金の運用益をもとに在宅介護を振興するための事業実施がはじまりである。社会福祉・医療事業団法の一部改正により、1990年8月1日付で「長寿社会福祉基金」が創設された。なお、本事業は基金の国庫返納に伴い、2010年度から社会福祉振興助成事業として実施している。

※3 教育資金貸付けあっせん業務は、「独立行政法人整理合理化計画」(2007年12月24日閣議決定)に基づき、2008年3月末をもって休止し、独立行政法人福祉医療機構法の一部改正により、2017年3月末をもって廃止。

※4 年金担保貸付事業及び労災年金担保貸付事業は、2020年5月29日に成立した「年金の機能強化のための国民年金法等の一部を改正する法律」に基づき、2022年3月末をもって申込受付を終了しており、2022年4月からは年金担保債権管理回収業務及び労災年金担保債権管理回収業務として実施している。

ごあいさつ

令和6年能登半島地震によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

独立行政法人福祉医療機構は、福祉の増進と医療の普及向上を図ることを目的に平成15年に設立され、昨年の10月を持ちまして20周年を迎えました。（＊）

この間、機構では、経営理念として「民間活動応援宣言」を掲げ、福祉医療サービスを提供する民間事業者の活動を支援しています。この結果、福祉医療貸付事業では38,000法人、経営サポート事業の経営診断では延べ9,300件、退職手当共済事業では17,000法人で被共済職員数88万人、社会福祉振興助成事業では延べ1万法人など非常にたくさんのお客さまにご利用いただいております。また、福祉及び保健医療に関連する総合情報提供サイトであるWAM NETでは、年間アクセスが2億7千万件に近づくなど、様々な角度から地域における福祉・医療基盤の維持・整備・向上を図るため事業を展開しています。（数値はいずれも令和4年度末実績）



独立行政法人福祉医療機構
理事長 **松縄 正**

少子高齢化とそれに伴う働き手不足、物価高騰や自然災害の増加等、福祉や医療を取り巻く環境はより一層厳しいものとなっています。そのような中で、われわれの役割はより一層重要になってくると考えております。

独立行政法人は、確実に事業を実施することで、「国民生活の安定及び社会経済の健全な発展に資すること」を使命としています。機構では、この冊子でも紹介している11事業を展開することでその使命を果たしていく所存でございます。

今後とも、国民の皆様が必要とされる組織として評価されるよう、役職員一丸となって業務に取り組んでまいります。引き続き、これまでと同様、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年4月

（＊）昭和29年に設立した社会福祉事業振興会と昭和35年に設立した医療金融公庫が昭和60年に社会福祉・医療事業団として統合され、平成15年に独立行政法人福祉医療機構としてスタートしました。

民間活動応援宣言

私たちは、国の政策効果が最大になるよう、
地域における福祉と医療の向上を目指し、
お客さまの目線に立って民間活動を応援します。

1

お客さま満足を追
求しつつ、将来の地
域の暮らしを福祉
医療から支えます。

2

福祉医療の支援に
係る専門性を磨き、
政策金融と多様な
事業の展開による総
合力を発揮します。

3

環境変化を捉え、課
題やニーズに迅速
に対応し、お客さま
の信頼に応えます。

行動指針

1 健全な業務運営

法令等の遵守、高い倫理観と誠実な活動に加え、
透明性及び自主性を発揮して、健全な業務運営に努める。

2 効率的な業務実施

コストや時間の無駄を削減し、適正かつ効率的に業務を進める。

3 多様性と働きがい

多様な立場や意見を尊重し協力することにより、
自ら働きがいのある強く明るい組織を目指す。

福祉医療機構(WAM)は、福祉・医療に関する多様な事業を一体的に実施することにより、地域の福祉・医療の向上を目指して民間活動を支援しています。

「国民生活の安定」と「社会経済の健全な発展」に貢献

対象：社会福祉法人、医療法人、
NPO法人等の福祉・医療の担い手や支援者である事業者、
高齢・障害・児童・医療分野の制度の利用者 等

事業者支援

福祉貸付事業

安心できる社会の実現に向けて福祉の基盤整備を応援します (P5)

医療貸付事業

医療サービスの提供を支援することで、みなさまの安心した暮らしを支えます (P6)

経営サポート事業

リサーチ・コンサルティング・セミナーを通して福祉医療施設の安定経営を支援します (P7)

社会福祉振興助成事業 (WAM助成)

制度の狭間にある福祉課題に対応する民間福祉活動を助成金で応援します (P8)

WAM NET 事業

福祉及び保健医療に関する情報を幅広く、分かりやすく提供します (P11)

退職手当共済事業

退職手当共済制度を通じて、福祉施設などにお勤めのみなさまを支えます (P9)

心身障害者扶養保険事業

地方公共団体の扶養共済制度を通じて障害のある方を支えます (P10)

個人への直接支援

承継年金住宅融資等債権管理回収業務

年金住宅貸付資金の着実な管理回収を行っています (P13)

年金担保債権管理回収業務

労災年金担保債権管理回収業務

年金担保貸付資金及び労災年金担保貸付資金の着実な管理回収を行っています (P13)

一時金支払等業務 補償金支払等業務

旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた方への一時金の支給、ハンセン病元患者家族の方への補償金の支給を行っています (P14)

安心できる社会の実現に向けて福祉の基盤整備を応援します

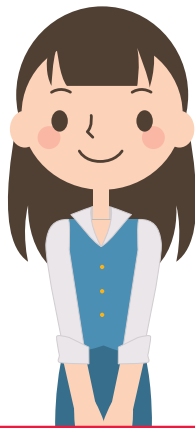


事業の概要

特別養護老人ホーム、保育所や障害のある方を支援する施設などの社会福祉施設を整備する際に、必要となる建築資金等を「長期・固定・低利」でご融資いたします。

また、介護サービス基盤の整備、待機児童解消のための保育所整備、感染症対策を伴う整備事業、社会福祉施設の耐震化整備、都市部や借地における整備、東日本大震災や令和6年能登半島地震等に係る被災地の復興のための整備など、様々なニーズに対応する融資メニューをご提供いたします。

融資を通じて
地域社会を
支えます！



特 色

1

「長期・固定・低利」のご融資で社会福祉施設の経営を支えます。

特 色

2

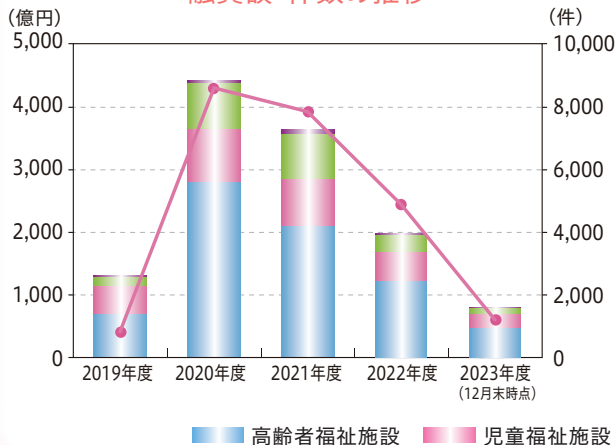
福祉分野における長年の融資実績および全国データに基づく専門的なアドバイスを行います。

特 色

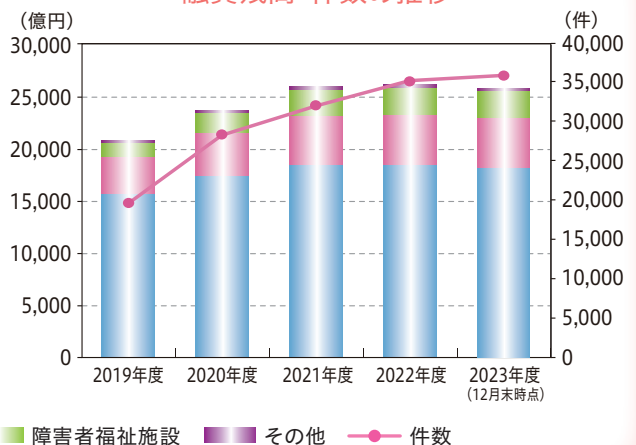
3

介護サービス基盤の整備、待機児童解消、感染症対策などの国の政策に即した事業を推進するときに、ご融資条件を優遇します。

融資額・件数の推移



融資残高・件数の推移



災害復旧資金の融資実績

東日本大震災災害復旧資金311件463億円、平成28年熊本地震災害復旧資金18件11億円、この他、令和2年の豪雨（令和2年7月豪雨）等の災害への融資を行いました。（2023年12月末までの累計）

【お問い合わせ】

東京本部 福祉審査課 融資相談係 TEL03-3438-9298
NPOリソースセンター NPO支援課 TEL03-3438-4756
大阪支店 福祉審査課 融資相談係 TEL06-6252-0216

FAX03-3438-0659
FAX03-3438-0218
FAX06-6252-0240

詳しくはHPを
ご覧ください





医療サービスの提供を
支援することで、
みなさまの安心した
暮らしを支えます

事業の概要

病院や診療所、介護老人保健施設や介護医療院などの医療施設を整備・改築する際に必要となる建築資金等を「長期・固定・低利」でご融資いたします。

また、地域包括ケアシステムの推進、地域医療構想に基づく医療機能分化・連携を進めるための施設整備、感染症対策を伴う整備事業や地震防災対策としての耐震化整備などへの対応、制度改正などを要因とする突発的な資金不足に対応するための運転資金、医療従事者の働き方改革のために必要な運転資金のご融資など、様々なニーズに対応する融資メニューをご提供いたします。



東日本大震災が発生して以来、災害に負けない施設づくりが注目されています。

特 色

1

「長期・固定・低利」のご融資で医療施設の経営を支えます。

特 色

2

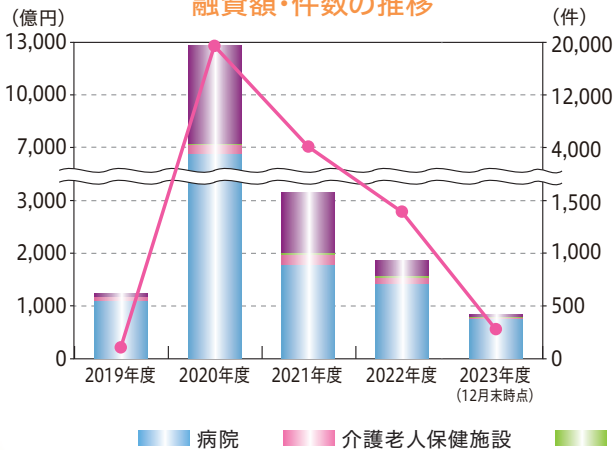
医療分野における長年の融資実績および全国データに基づく専門的なアドバイスを行います。

特 色

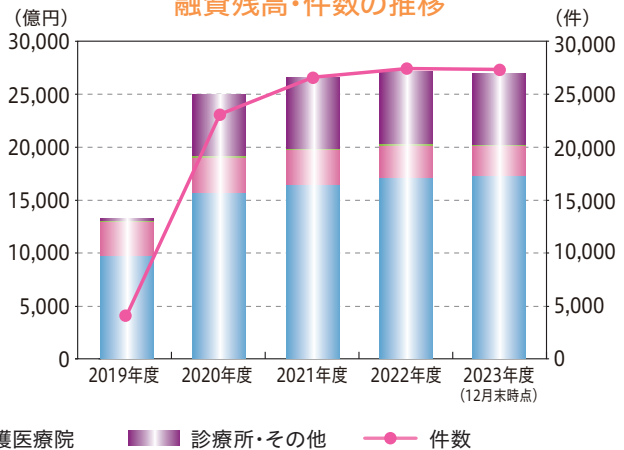
3

感染症対策、医療施設の耐震化などの国の政策に即した事業を推進するときに、ご融資条件を優遇します。

融資額・件数の推移



融資残高・件数の推移



災害復旧資金の 融資実績

東日本大震災災害復旧資金799件754億円、平成28年熊本地震災害復旧資金15件56億円、その他、令和2年の豪雨（令和2年7月豪雨）等の災害への融資を行いました。（2023年12月末までの累計）

【お問い合わせ】

東京本部 医療審査課 融資相談係 TEL03-3438-9937
大阪支店 医療審査課 融資相談係 TEL06-6252-0219

FAX03-3438-0659
FAX06-6252-0240

詳しくはHPを
ご覧ください



リサーチ・コンサルティング・セミナーを通して 福祉医療施設の安定経営を 支援します



事業の概要

社会福祉施設及び医療関係施設等の経営者や地方公共団体、福祉医療関係団体等に対し、政策動向をふまえた経営に関わる正確な情報や有益な知識を提供しています。また、保有するノウハウを活用した経営指標の提供や経営状況の的確な診断を行うことにより、福祉、介護及び医療サービスが安定的かつ効率的に実施されるよう支援します。

安定経営に役立つサービスで、多面的にバックアップしています。



特 色

1

◆リサーチ

福祉・医療施設の経営に関する情報を各種レポートやデータ等で公表します。

特 色

2

◆コンサルティング

政策、経営の両面に精通した視点から法人経営や個別の施設に的確な助言を行います。

特 色

3

◆セミナー

施設経営をバックアップするため、各種経営セミナーを開催します。

サービス名	2023年度実績（見込み）	
リサーチレポート	公表数 約20本 特別養護老人ホーム、保育所・認定こども園、病院、社会福祉法人、医療法人等の経営状況、福祉・医療施設の建築費、介護人材に関するアンケート調査等	
経営動向調査	社会福祉法人・特養	公表数 年4回（3月、6月、9月、12月分）
	医療法人・病院	公表数 年4回（3月、6月、9月、12月分）
経営分析参考指標	収録データ：15種類 種 別：特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム（ケアハウス）、認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護、通所介護・認知症対応型通所介護、養護老人ホーム、訪問介護、病院、介護老人保健施設、診療所、保育所・認定こども園、障害福祉サービス（日中活動系サービス）、障害福祉サービス（居住系サービス）、障害福祉サービス（児童系サービス）、法人（社会福祉法人・医療法人・特定非営利活動法人）	
経営診断	実施件数：約350件 対象施設：特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム（ケアハウス）、通所介護・認知症対応型通所介護、認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護、病院、介護老人保健施設、保育所、認定こども園、生活介護、共同生活援助	
コンサルティング	実施件数：約10件 提供商品：経営分析プログラム、人事給与分析プログラム 介護医療院移行支援プログラム、個別支援プログラム	
経営セミナー	社会福祉施設経営セミナー、病院経営セミナーなど各種経営セミナー（WEBセミナー）を開催	

【お問い合わせ】

「リサーチレポート」「経営動向調査」「経営セミナー」について
「経営分析参考指標」「経営診断」について
「コンサルティング」について

TEL03-3438-9932 FAX03-3438-0371
TEL03-3438-0236 FAX03-3438-0371
TEL03-3438-9935 FAX03-3438-0371

詳しくはHPを
ご覧ください





制度の狭間にある 福祉課題に対応する 民間福祉活動を助成金で 応援します



事業の概要

国庫補助金及び寄付金を財源としたWAM助成により、政策動向や国民ニーズを踏まえ、民間の創意工夫ある活動や地域に密着したきめ細やかな活動等に対し助成を行うことで、高齢者・障害者等が自立した生活を送り、また、こどもたちが健やかに安心して成長できる地域共生社会の実現に向けて必要な支援を行います。

30年以上にわたり
約14,800件の
助成実績を活かして、
団体をサポートして
います。



特 色

1

国の政策に連動

国の政策に連動した助成テーマを設定します。

特 色

2

地域連携・広域連携を後押し

複数の団体と連携して実施する事業が対象です。

特 色

3

事業の継続や制度化を促進

行政等との協働や政策提言を促進することで、事業の継続や制度の更なる拡充を支えます。

WAM助成の成果

連携・ネットワークの構築や制度化を促進

WAM助成の実施団体は、事業に取り組むなかで、新たなネットワークを構築し、地域内の課題解決力を高めている他、地域に必要な取り組みという認知が進み、制度化に結びついている事例もみられます。

また、助成期間終了後も、約9割の事業が継続され、着実に地域の福祉基盤の礎を築いています。

現場と国をつなぐWAMの立ち位置を活かし、国民の更なる福祉の増進を後押しします。



WAM助成の実績 (※)

助成件数 **124件** **35**都道府県

年間総額 **約6億円**を助成

支援対象者数 **延べ512,803人**

支援対象者の満足度 **96.0%**

(※) 2022年度実績

「WAM助成 e-ライブラリー」では助成実績(約9,700件)が検索いただけます。



【お問い合わせ】

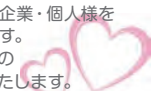
NPOリソースセンター<助成相談窓口を常設しています>
助成事業の応募について NPO支援課 TEL03-3438-4756
助成事業の成果について NPO振興課 TEL03-3438-9942

詳しくは
WAM助成HPを
ご覧ください



寄付のお願い

ご支援いただける企業・個人様を
随時募集しています。
寄付金は、助成金の
財源として活用いたします。



退職手当共済制度を通じて、 福祉施設などにお勤めの みなさまを支えます

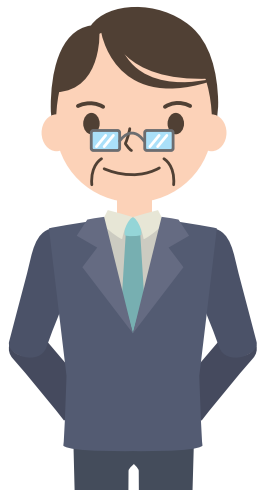


事業の概要

社会福祉法人等が経営する保育所・特別養護老人ホーム・障害者支援施設などにお勤めの職員に退職手当金を支給するための共済制度を実施しています。

法律に基づき実施されている全国規模の制度で、施設等の経営者の相互扶助と国・都道府県の支援（補助）により、福祉施設に従事する人材の確保と定着、処遇の向上の一助となっています。

人材の確保と、
離職防止に
役立っています。



特 色
1

職員が退職した時に、退職者本人に退職手当金を支給します。

特 色
2

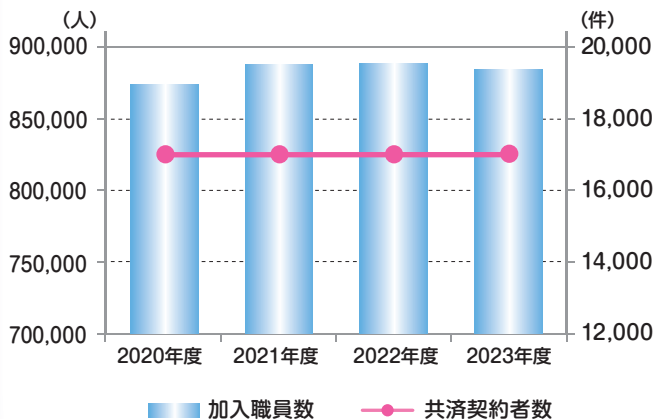
退職手当金の財源は契約者（社会福祉法人等）、国、都道府県の三者の負担であり、職員個人の負担はありません。

特 色
3

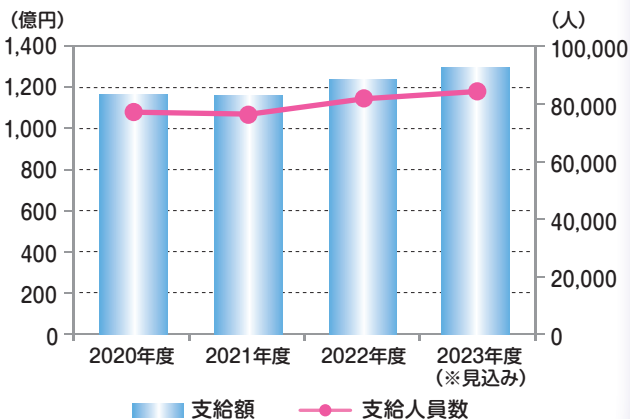
人材の確保と定着に役立つ、法律に基づく制度で、社会福祉法人の約90%が利用しています。

退職手当共済制度は、制度開始以来60年以上にわたり、延べ約231万人に退職手当金を支給してきました。現在では、契約者(社会福祉法人等)は約1万7千、加入職員は約88万5千人にのぼります。

共済契約者数・加入職員数の推移



支給額・支給人員数の推移



【お問い合わせ】

共済部 退職共済課・退職給付課（一部IP電話についてはつながらない場合があります。）
 加入手続き等に関して（退職共済課） TEL0570-050-294 FAX03-3438-0584
 退職手当金の支給に関して（退職給付課） TEL0570-050-294 FAX03-3438-9261

詳しくはHPを
ご覧ください





地方公共団体の 扶養共済制度を通じて 障害のある方を支えます

事業の概要

障害のある方を扶養している保護者が万一お亡くなりになられた場合などに、障害のある方に対して終身一定額の年金を支給するため、地方公共団体(都道府県・指定都市)が条例に基づき実施している任意加入の心身障害者扶養共済制度について、全国的規模で安定的に運営するための事業を福祉医療機構で実施しています。

障害のある方の
将来の生活に
役立ちます。



特 色

1

障害のある方の保護者が万一お亡くなりになったときに、障害のある方に終身一定額の年金を支給します。

特 色

2

障害のある方を扶養している保護者の方々の連帯と相互扶助の精神に基づき生まれた制度です。

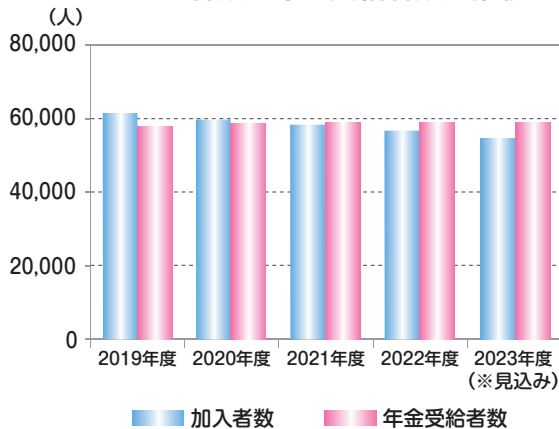
特 色

3

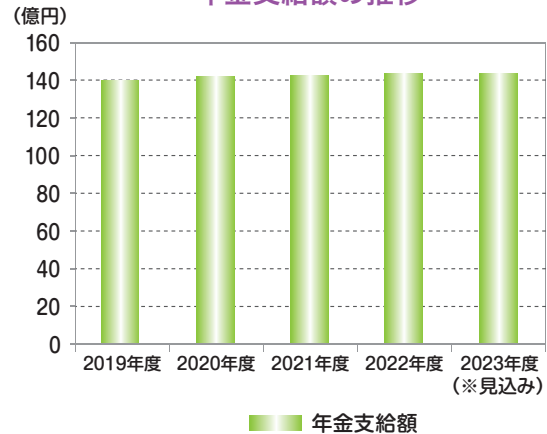
地方公共団体が条例に基づき実施している任意加入の制度です。

2022年度末では、加入者数は56,558人、年金受給者数は58,865人、年金支給額は約143億円となっています。

加入者数・年金受給者数の推移



年金支給額の推移



【お問い合わせ】

保険・支払業務部 扶養保険課 TEL03-3438-0221 FAX03-3438-3885

※加入の申込み等については、お住まいの地方公共団体にお問い合わせください。

詳しくはHPを
ご覧ください



福祉及び保健医療に関する情報を幅広く、 分かりやすく提供します



事業の概要

福祉医療関係者や一般の方に向けて、総合情報提供サイト (WAMNET: ワムネット) により福祉及び保健医療に係る制度や施策、各地の取組み情報などを幅広くわかりやすく情報提供します。

福祉保健医療に関する総合的な情報をいち早くお届けします。



特色 1

国の施策に基づく情報システムを安定的に運用します。

- 社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム
- 障害福祉サービス等情報公表システム
- 子ども・子育て支援情報公表システム(ここ de サーチ)

特色 2

福祉及び保健医療に係る制度や施策を情報提供します。

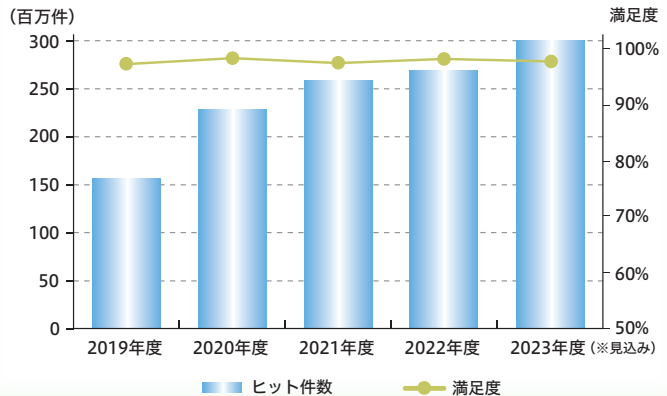
- 制度解説コーナー
- WAM NET ニュース
- 行政情報
- 障害福祉サービス Q&A
- ケアプランデータ連携システム利用状況
- 福祉サービス評価情報

このほかにも様々な情報を掲載しています。



WAMNETヒット件数及び満足度の推移

2023年度ヒット件数は3億件に達する見込みです。また、満足度においても95%を超える高い満足度をいただいています。



【お問い合わせ】

情報事業推進部WAM NET事業室WAM NET事業課・WAM NET振興課
TEL03-3438-9948 FAX03-3438-9949



さまざまな情報をタイムリーにお届け

✉ WAM NETメールマガジン

会員登録をしていただくと、WAM NET に掲載した最新の行政情報などをお知らせするメールマガジンを受信できます

✉ WAM 助成通信

WAM の助成情報をはじめ、活動に役立つ情報などをお知らせするメールマガジンです

✕ WAM NET X

福祉・保健・医療の総合情報サイト WAM NET (ワムネット) に掲載した新着情報等をお知らせします

✕ WAM 助成 X

f WAM 助成 Facebook

福祉医療機構ホームページ

<https://www.wam.go.jp/hp/>

📷 WAM NET Instagram

WAM NET のコンテンツの紹介や使い方をわかりやすく発信しています。

福祉医療機構ホームページでは、福祉医療機構の事業に関するお知らせやセミナー・イベント情報等を掲載しています

月刊誌 **WAM** 経営に役立つ情報を分かりやすく解説！

月刊誌 WAM では、施設経営の現場ルポや、福祉・医療・介護に関する独自の調査レポートなど、経営に役立つ情報を掲載しています。ぜひ、ご購入ください。

特集

福祉医療の政策動向や時宜を得たテーマについて解説

福祉・医療 最前線

施設経営の先駆的な取り組み、参考となる取り組みを実地取材によりレポート

WAMレポート

福祉医療機構の独自データに基づく調査結果等、施設経営に役立つ情報を掲載

読者の方から、このような声をいただいています！

- 福祉・医療に関する多岐にわたる情報が掲載されており、幅広く情報収集ができる。
- 「福祉・医療最前線」では施設が抱える課題の解決策を事例で知ることができる。
- さまざまな施設・事業の決算データの分析等の掲載があり、自法人の経営状況の位置付け等が把握できる。

「試し読み」
ができます！



年金住宅貸付資金の着実な管理回収を行っています

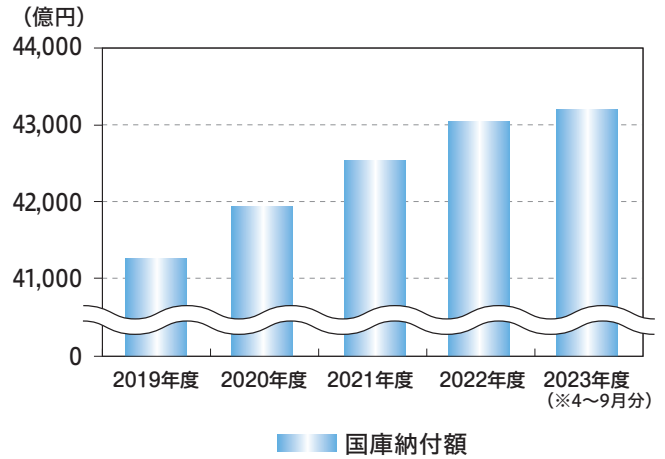
業務の概要

当該業務は、旧年金福祉事業団等が年金の財源を基に住宅購入などのために融資した債権の管理と回収を行っています。これにより回収された資金は、年金財政に納付され、年金給付の財源となります。

承継時以降累計で4兆3,225億円を回収し、年金特別会計に納付しており(2023年度前半までの実績)、年金給付財源の確保に寄与しています。

2023年度末見込みでは、約7万8千件、約1,715億円の残高となっています。

国庫納付額の推移(累計)



【お問い合わせ】

年金業務部 年金業務課 TEL03-3438-3882 FAX03-3438-3880

詳しくはHPをご覧ください



年金担保貸付資金及び労災年金担保貸付資金の着実な管理回収を行っています

業務の概要

当該業務は、2020年の年金制度の法律改正により終了した年金担保貸付及び労災年金担保貸付(※)の債権の管理と回収を行っています。

(※)厚生年金保険、国民年金、労働者災害補償保険の年金支給を受けている方に対して、その受給権を担保として保健・医療や介護・福祉等の必要な資金を貸し付けていた制度

年金担保貸付資金及び労災年金担保貸付資金の債権回収については、年金支給機関から支払われる年金を機構が直接受領することにより行っています。

2023年度末見込みでは、約3万9千件、約110億円の回収を行い、全体の残高は約2万3千件、約25億円となっています。

【お問い合わせ】

年金業務部 年金担保管理課 TEL03-3438-0224 FAX03-3438-9962

詳しくはHPをご覧ください



旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた方への一時金の支給、ハンセン病元患者家族の方への補償金の支給を行っています

業務の概要

【一時金支払等業務】

「旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者に対する一時金の支給等に関する法律（平成31年法律第14号）」に基づき、国からの委託を受け、同法の対象となる方に対して一時金をお支払いいたします。

支払実績：1,082件 3,465百万円
(2024年1月までの累計)

※上記法律の改正が無い場合、一時金の請求期限は2024年4月23日までとなり、業務を終了する予定です(2024年1月末時点)。

【補償金支払等業務】

「ハンセン病元患者家族に対する補償金の支給等に関する法律（令和元年法律第55号）」に基づき、国からの委託を受け、同法の対象となる方に対して補償金をお支払いいたします。

支払実績：7,990件 12,404百万円
(2024年1月までの累計)

※上記法律の改正が無い場合、補償金の請求期限は2024年11月21日までとなり、業務を終了する予定です(2024年1月末時点)。

【お問い合わせ】

保険・支払業務部 一時金支払業務課
保険・支払業務部 補償金支払業務課

TEL03-3438-3883
TEL03-3438-3884 共通FAX03-3438-3885

詳しくはHPをご覧ください

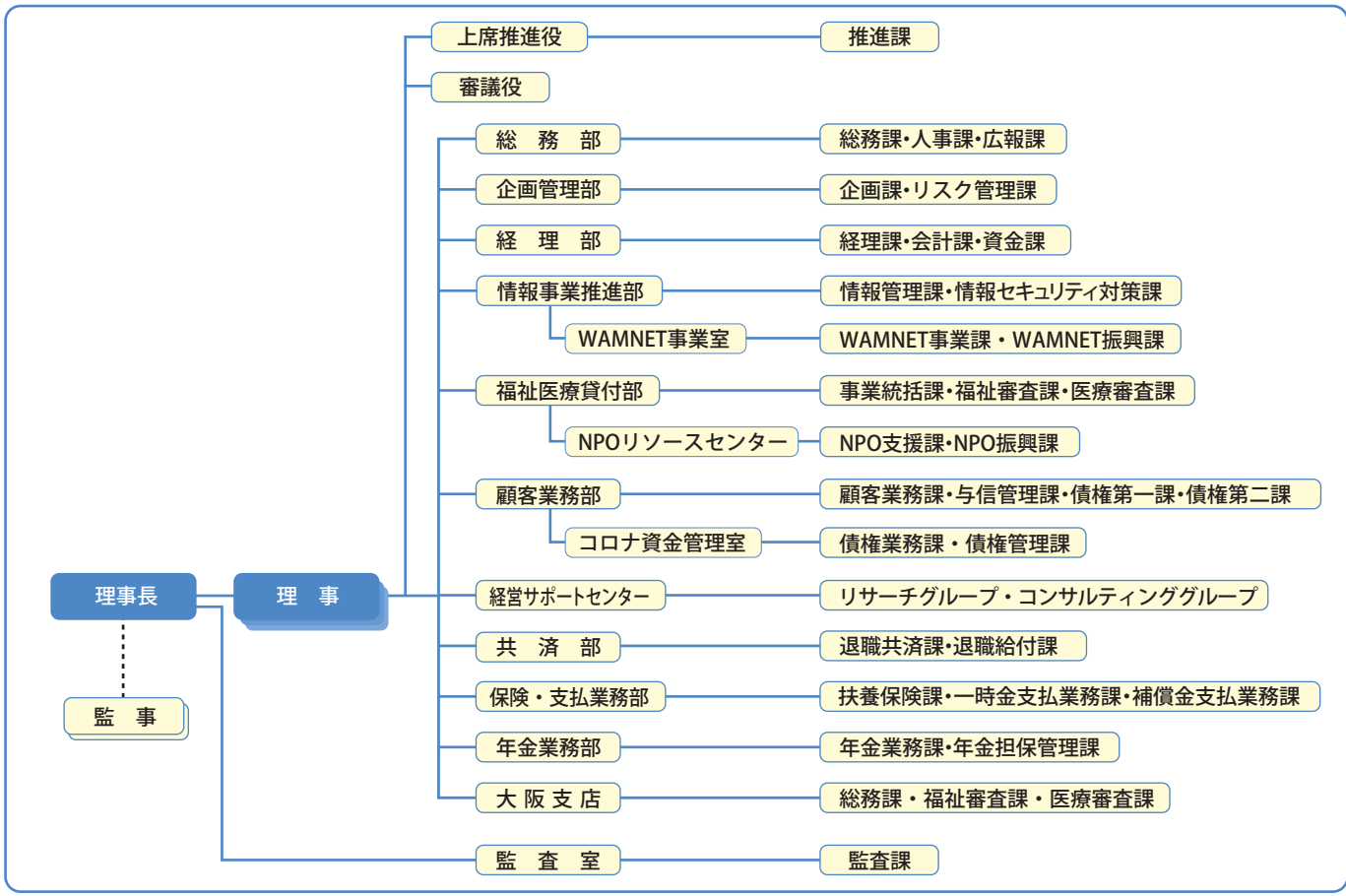


(一時金支払等業務)



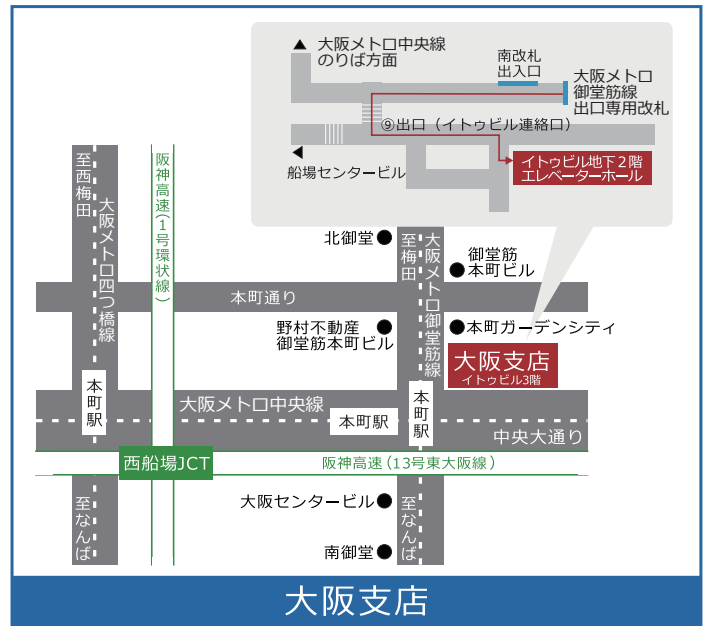
(補償金支払等業務)

組織図





独立行政法人 福祉医療機構
<https://www.wam.go.jp/hp>



● 住所

〒105-8486 東京都港区虎ノ門4-3-13
 ヒューリック神谷町ビル 1・9・10階
 TEL 03-3438-0211(代表) FAX 03-3438-9949

● 交通

地下鉄：東京メトロ日比谷線神谷町駅
 (虎ノ門方面改札) より徒歩3分
 J R：新橋駅または浜松町駅よりタクシー約10分

● 住所

〒541-0054 大阪府大阪市中央区南本町3-6-14
 イトウビル 3階
 TEL 06-6252-0215 (代表) FAX 06-6252-0257

● 交通

地下鉄：大阪メトロ御堂筋線・
 中央線本町駅より徒歩3分
 (9番出口「イトウビル連絡口」方面に進む)



子育てサポートしています



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



古紙リサイクル配合率70%再生紙を使用しています